



# 平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 YKT株式会社  
 コード番号 2693 URL <http://www.ykt.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 井元 英裕  
 (氏名) 山本 庸一  
 TEL 03-3467-1251

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	5,836	42.6	183	89.4	202	96.5	13	
29年12月期第2四半期	4,092	15.4	96	51.6	102	49.4	65	44.0

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 62百万円 ( %) 29年12月期第2四半期 77百万円 (21.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	1.16	
29年12月期第2四半期	5.52	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	11,207	5,668	50.5	475.70
29年12月期	8,974	5,790	64.4	485.79

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 5,658百万円 29年12月期 5,778百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		5.00	5.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	22.4	370	113.1	390	69.0	100	35.1	8.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	11,906,880 株	29年12月期	11,906,880 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	12,258 株	29年12月期	12,197 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	11,894,648 株	29年12月期2Q	11,895,236 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績はさまざまな要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項は[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の拡大や雇用環境の改善などにより、国内景気は引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、米国の保護主義政策から発展した米中貿易摩擦問題による企業業績への影響等が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である電機・機械・自動車等の製造業においては、国内では引き続き自動車関連を中心に設備投資が拡大基調にあり、海外でもスマートフォンや車載関連機器等の増産や生産の効率化に向けた旺盛な設備投資需要が見られました。このような環境のもと、当社グループの業績は、電子部品実装機等の電子機器の輸出販売が増加し、工具研削盤等の工作機械も国内販売中心に増加しました。その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は、58億3千6百万円（前年同42.6%増）となりました。損益面では売上高が増加した結果、営業利益1億8千3百万円（前年同期比89.4%増）、経常利益2億2百万円（前年同期比96.5%増）となりましたが、第1四半期において本社ビル建替に関連して固定資産解体費用引当金繰入額1億4千万円、減損損失8千万円の特別損失を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失1千3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益6千5百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### （電子機器及び工作機械等）

電子部品実装機を中心とした電子機器は中国での設備投資需要が拡大基調に推移したことにより、輸出販売が増加しました。工作機械も工具研削盤の国内販売が増加した結果、当セグメントの売上高は56億2千3百万円（前年同期比45.9%増）、営業利益は1億7千3百万円（前年同期比95.3%増）となりました。

#### （光電子装置）

光電子装置の販売は、レーザー装置の販売が増加しましたが、当セグメントの売上高は2億2千万円（前年同期比8.5%減）、営業利益8百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億3千3百万円増加し、112億7百万円となりました。これは主として借入金の増加等により現金及び預金が9億9千5百万円増加したことと、電子機器販売の増加に伴い一時的な在庫商品が増加し、商品残高が11億3千4百万円増加したことなどによるものです。

#### （負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億5千5百万円増加し、55億3千8百万円となりました。これは主として、電子機器販売の増加に伴い、支払手形及び買掛金が13億2千6百万円増加したことと、1年内返済予定の長期借入金と長期借入金が合計で2億9千2百万円増加したことなどによるものです。

#### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億2千2百万円減少し、56億6千8百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失が1千3百万円となったことと、剰余金の配当額5千9百万円により、利益剰余金が7千3百万円減少したことなどによるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億9千5百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は34億1千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は8億4千9百万円（前年同期比108.9%増）となりました。これは主として、仕入債務の増加額が13億4千5百万円となりましたが、税金等調整前四半期純損失が1千8百万円となったことと、たな卸資産の増加額が11億4千8百万円となったことなどによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6千9百万円（前年同期比883.9%増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出4千1百万円があったことによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は2億2千7百万円（前年同期は3億7千1百万円の使用）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出3億7百万円がありましたが、長期借入れによる収入6億円があったことによるものです。

### (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想（通期）に関しましては、平成30年2月15日付「平成29年12月期 決算短信」の発表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,415,367	3,411,196
受取手形及び売掛金	1,669,536	1,620,237
商品	1,097,201	2,231,608
その他	622,268	826,744
貸倒引当金	△2,039	△1,870
流動資産合計	5,802,335	8,087,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	368,493	314,667
土地	1,657,243	1,657,243
その他(純額)	53,351	72,167
有形固定資産合計	2,079,088	2,044,078
無形固定資産		
その他	25,720	22,535
無形固定資産合計	25,720	22,535
投資その他の資産		
投資有価証券	321,139	297,735
投資不動産(純額)	661,834	657,108
その他	84,375	98,209
投資その他の資産合計	1,067,348	1,053,053
固定資産合計	3,172,157	3,119,667
資産合計	8,974,492	11,207,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	933,690	2,260,292
1年内返済予定の長期借入金	491,365	502,299
未払法人税等	5,752	77,120
役員賞与引当金	—	6,000
厚生年金基金解散損失引当金	18,000	18,000
固定資産解体費用引当金	—	140,000
その他	557,143	1,069,972
流動負債合計	2,005,951	4,073,684
固定負債		
長期借入金	879,618	1,160,742
退職給付に係る負債	239,641	248,653
その他	58,555	55,836
固定負債合計	1,177,815	1,465,232
負債合計	3,183,767	5,538,916
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,389,836	1,389,836
資本剰余金	1,997,995	1,997,995
利益剰余金	2,219,658	2,146,425
自己株式	△3,661	△3,703
株主資本合計	5,603,829	5,530,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,140	117,744
繰延ヘッジ損益	7,496	△9,658
為替換算調整勘定	30,862	19,690
その他の包括利益累計額合計	174,500	127,776
非支配株主持分	12,395	10,335
純資産合計	5,790,725	5,668,666
負債純資産合計	8,974,492	11,207,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,092,800	5,836,172
売上原価	3,125,452	4,676,071
売上総利益	967,347	1,160,100
販売費及び一般管理費	870,536	976,721
営業利益	96,811	183,378
営業外収益		
受取利息	545	488
受取配当金	4,219	4,107
仕入割引	5,057	14,605
不動産賃貸料	16,902	16,902
その他	1,074	6,559
営業外収益合計	27,798	42,662
営業外費用		
支払利息	5,030	7,118
不動産賃貸費用	7,823	7,644
為替差損	8,015	7,510
その他	764	1,431
営業外費用合計	21,633	23,704
経常利益	102,977	202,336
特別損失		
固定資産解体費用引当金繰入額	—	140,000
減損損失	—	80,895
特別損失合計	—	220,895
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	102,977	△18,558
法人税、住民税及び事業税	13,166	69,008
法人税等調整額	24,144	△72,101
法人税等合計	37,310	△3,093
四半期純利益又は四半期純損失(△)	65,666	△15,465
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,706
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	65,666	△13,759

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	65,666	△15,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,928	△18,396
繰延ヘッジ損益	3,545	△17,155
為替換算調整勘定	△2,720	△11,172
その他の包括利益合計	11,753	△46,723
四半期包括利益	77,420	△62,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,565	△60,129
非支配株主に係る四半期包括利益	△144	△2,060



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	102,977	△18,558
減価償却費	22,177	19,392
減損損失	—	80,895
固定資産解体費用引当金の増減額(△は減少)	—	140,000
受取利息及び受取配当金	△4,764	△4,596
支払利息	5,030	7,118
売上債権の増減額(△は増加)	102,089	36,485
たな卸資産の増減額(△は増加)	541,967	△1,148,104
仕入債務の増減額(△は減少)	△406,947	1,345,772
その他	136,972	359,369
小計	499,503	817,774
利息及び配当金の受取額	4,764	4,596
利息の支払額	△5,061	△7,241
法人税等の支払額	△92,336	△10,025
法人税等の還付額	—	44,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	406,870	849,876
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,104	△41,177
無形固定資産の取得による支出	△411	△306
その他	△4,573	△28,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,089	△69,747
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△277,704	△307,942
配当金の支払額	△88,897	△59,822
その他	△4,965	△4,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371,567	227,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,400	△12,020
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,813	995,829
現金及び現金同等物の期首残高	2,507,010	2,415,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,530,824	3,411,196

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機器及び 工作機械等	光電子装置	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,853,594	239,205	4,092,800	—	4,092,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,650	1,650	△1,650	—
計	3,853,594	240,855	4,094,450	△1,650	4,092,800
セグメント利益	89,018	8,167	97,185	△373	96,811

(注) 1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去△373千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機器及び 工作機械等	光電子装置	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	5,623,066	213,105	5,836,172	—	5,836,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,253	7,253	△7,253	—
計	5,623,066	220,358	5,843,425	△7,253	5,836,172
セグメント利益	173,875	8,830	182,705	672	183,378

(注) 1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去672千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。